

チャペルアワーでのプレゼンテーション

日時：2012年7月10日(火) 10:35～11:05

実施場所：関西学院大学神戸三田キャンパスⅡ号館101教室

対象者：総合政策学部1回生・留学生(約100名)

活動担当者：[4回生]北野香、永島寛明、中野堅太 [3回生]大倉千佳

目的：フィールドワークの活動報告・現地で自分たちが印象的に感じたことを伝えるため

テーマ：Bridge for Children, KGUの活動について

活動内容：

- ・活動報告、現地で自分たちが印象的に感じたことについてのプレゼンテーション
- ・フィールドワークのムービー上映

[タイムスケジュール]

10:45-10:55 Bridge for Children, KGU の紹介、活動報告、フィールド活動で学んだこと、今後の活動について

10:55-11:00 ムービー上映

私たちは、①Bridge for Children, KGU の紹介、②フィリピンでのフィールドワークの活動報告、③フィリピン現地で各メンバーが印象的に感じたこと、④今後の活動紹介、これらの4点をについてパワーポイントを用いながら説明しました。最後には、フィリピンでのフィールドワークについてのムービーを上映しました。また Bridge for Children, KGU についてのチラシを事前に配布させて頂きました。

参加者（総合政策学部1回生）の感想：

- ・今当たり前のように過ごしている毎日は他国では当たり前ではないということを頭において、感謝する気持ちを忘れないで大切に過ごそうと思いました。実際に映像で見れて良かったです。
- ・途上国に対する自分たちの偏見があること。貧困の現状など実際に行ってみなければ分からないことがある。Bridge for Children の活動のように積極的に動いていくことが大事だと思いました。

担当者の感想：

私たちは今回、関西学院大学の村瀬教授に、Bridge for Children, KGU としてチャペルアワーでの活動報告についてのプレゼンテーションの機会を頂きました。出席者の1回生や留学生は非常に真剣に私たちの発表を聞いて下さり、自分たちも改めてフィリピン現地で印象的に感じたこと、学んだことについて考えました。同時に自分達の経験や学んだ事を伝えるということの大切さも改めて感じました。このような貴重な機会を頂き、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

中野堅太



約100名の参加者の前で Bridge for Children, KGU の紹介・フィリピンでのフィールドワークの活動報告について発表しました。このような大勢の前でのプレゼンテーションは初の試みであり、非常に緊張したのですが、参加者の方々は真剣に私たちの発表を聞いて下さりました。



活動報告の後には、自分達がフィリピン現地で印象的に感じたことについて、都市部と貧困地域の格差、子どもたちの笑顔、感謝することの大切さ、をそれぞれ1人ずつ発表しました。



最後には、フィリピンでのフィールドワークについてまとめたムービーを上映し、プレゼンテーションを終えました。

写真撮影：大倉千佳

文責：中野堅太